

## 『経済志林』執筆要綱

雑誌名	経済志林
巻	73
号	3
ページ	887-887
発行年	2006-03-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10114/00017274">http://hdl.handle.net/10114/00017274</a>

## 『経済志林』執筆要綱

2005年6月3日制定

- 1 (形式) 横書きを原則とする。
- 2 (データ明細書) の提出。  
原稿提出と同時に、『経済志林原稿データ明細』(別紙)を提出する。内容は、著者名・身分の邦文と英文表記、提出原稿の種類、タイトルの邦文と英文表記、PC使用ソフト名、抜きずり部数、校正原稿などの送付先・電話番号など。
- 3 (Abstract) 論文には Abstract をつける。
  - (1) Abstract は英文200語以内を原則とする。
  - (2) 研究ノート・書評・紹介・資料等には、執筆者の希望によりつけてもつけなくてもよい。
  - (3) Abstract の掲載場所は、論文そのものが英文の場合は論文の頭に、和文の場合は論文の末尾に掲載する。
  - (4) Abstract のチェックは英語を母語とする人に依頼する。謝礼金は原則として原稿1本あたり3,000円とする。
- 4 (英文表記：氏名) Abstract や抜きずりの英文氏名表記は、つぎのようにする。
  - (1) 執筆者名のローマ字表記は、表紙目次、Abstract とともに(例) Kenji AOYAMA のように 姓は大文字表記とする。
- 5 (校正) 校正は二校までとする。
- 6 (執筆料) 執筆者には、執筆料を支払う。
  - (1) 執筆料は、論文・研究ノート・書評・紹介・資料等すべてについて1枚(刷り上がり)につき@2,772円を支払う。半ページ余白の場合は話し合いによる。
  - (2) 執筆料の上限は72,000円とする。(100円未満は切り上げ) 原稿を2本同時に掲載した場合の執筆料は、それぞれにつき72,000円を限度として2本分支払う。
  - (3) 執筆料には課税額を加算して支払う。会計担当者は、給与課に課税手続きを依頼する。執筆者のうち、本学から給与所得を得ていない者には、個別に確定申告をする旨伝える。
  - (4) 執筆料は、本人指定の金融口座へ振り込む。
- 7 (抜き刷り)
  - (1) 抜き刷りは30部まで無料とする。
  - (2) 30部を超えた場合は1部につき105円を本人負担とする。

この要綱を変更する場合は、経済学会委員会に諮った後、経済学会の承認を得なければならない。

以 上